

1 専門研修の成果について

講義

- ・ 神奈川県衛生研究所の概要について理解しました。
- ・ 日本の感染症の分類、報告のシステムの見学、情報発表の学習を通じて、感染症発生動向調査事業を理解しました。
- ・ 新しい実験室の検査技術を学習しました（カビの形態、レジオネラの分離培養の方法、クダアの検査方法、畜水産食品中の残留抗生物質検査方法）。
- ・ 日本の結核の現況、そして検査方法と予防の策略を学習しました。
- ・ 日本の腸炎ビブリオ性下痢の予防方法を学習しました。
- ・ 日本の食品衛生専門監視制度、食品の GLP 検査方法、食中毒調査のプロセスを学習しました。
- ・ 2015 年の神奈川県におけるウイルス病原体の検査状況について理解しました。
- ・ 日本におけるタバコの対策と先進的な禁煙補助薬を理解しました。

見学

- ・ 県立がんセンター：神奈川県が悪性新生物事業を学習し、神奈川県のがんについて理解を深めました。また、新しい病院と重粒子線治療施設を見学しました。
- ・ 結核研究所：日本の結核の現況を知り、検査の方法と予防の策略を学習しました。複十字病院では、結核病室を見学しました。
- ・ ユーコープ：ユーコープの検査センターを見学しました。手洗いの方法を勉強し、多くの検査試験室を見学しました。
- ・ イオン会社：インストア食品衛生確認制度を紹介していただき、スーパーを見学しました。
- ・ テルモ湘南センター：企業理念は医療を通じて社会に貢献するというものであり、先進的な研修センターを見学しました。とても素晴らしい施設でした。研修センターで研修を受けた医師・看護師の技術もとても高度なものでした。
- ・ 平塚保健所：13人の HIV 即日検査を行い、全て陰性でした。保健所で HIV の即日検査と相談の事業について理解しました。
- ・ 小田原保健所福祉事務所：保健所の役割について理解しました、小田原分室を見学しました。
- ・ 温泉地学研究所：地震について学習しました。
- ・ 国立感染症研究所：国立感染症研究所の組織を知りました、感染症サーベランス体制と HIV 感染の現状を理解しました、P3 試験室を見学しました。

学会

- ・ 公衆衛生情報研究協議会研究会：地方衛生研究所における病原体検査の意義、水道水の微生物汚染対策、公衆衛生情報の利活用方針などが発表されました。
- ・ 結核予防全国大会：基調講演〈認知症とともに生きる社会をつくる〉を拝聴しま

した。日本の現状は高齢社会であり、認知症の患者さんも多い中、認知症になっても、希望と尊厳をもって暮らせる社会を目指すということでした。高齢者結核の特徴、DOTSなどが発表されました。

- ・ 地方衛生研究所協議会関東甲信静支部細菌研究部会：感染症法の改正、結核のサーベイランス、リステリアなどの新しい試験法、レジオネラ、ブドウ球菌、腸管出血大腸菌など病原菌の研究成果について発表されました。

2 帰国後について

(1) 研修の成果を所属機関でどのように生かすか

- ・ 学んだ新しい検査方法を同僚とともに下級各市の疾病予防コントロールセンターの作業員に紹介することで、その業務レベルの向上を促し、機会があれば、新しい病原体を検査したいと思います。例えば、中国では温泉に入浴する人が増えており、同じく中国のレジオネラ患者も増加しています。レジオネラの分離培養の方法の学習を活かして、レジオネラ患者のサンプルに検査をすることができます。
- ・ 日本の腸炎ビブリオ性下痢の予防経験に基づいて、遼寧省における感染性下痢の予防方針を制定する際に、予防を軸にした戦略を推進していきます。
- ・ 日本の結核の現況に基づき、検出方法と予防の戦略を遼寧省疾病予防コントロールセンター結核所の関係するスタッフに紹介し、遼寧省における結核予防と管理を促進します。
- ・ 神奈川県自然風景と文化を身の回りの友人と同僚に紹介し、中国の民衆の日本と神奈川県に対する理解を増進することで、中日両国の友好を促進するとともに、遼寧省と神奈川県間でも事業交流を続けていきたいと思えます。

(2) 神奈川県や研修機関との交流をどのように継続するか

- ・ 私は遼寧省政府外事弁公室及び神奈川県衛生研究所に積極的に連絡を行い、神奈川県衛生研究所と遼寧省疾病予防コントロールセンターの間の事業を促進して継続的な交流を行います。
- ・ 遼寧省疾病予防コントロールセンターに神奈川県衛生研究所の専門家を招き、学術講座などによって双方の理解とより深い交流を促進します。
- ・ 神奈川県衛生研究所と遼寧省疾病予防コントロールセンターのより深い協力を模索し、事業範囲の拡大を目指すことで、技術から政策に深く掘り下げた交流を行います。

日付：2016年2月16日

署名：

